

旅行・帰省前に“旅先防災”を見直すきっかけに！

“いつものスマホで、もしもに備える” 展示・クイズラリー・デモ体験で学ぶ

Google Pixel | au Starlink Direct

『旅先防災案内所』 開催レポート

12月25日（木）・26日（金）@サナギ新宿前イベントスペース

- 旅のメンバーの電話番号を知ってる？ au Starlink Directなら圏外でも電話番号でつながる
- いざという時のスマホの活用術 Google Map、緊急SOS、リアルタイム翻訳



KDDI株式会社（以下、KDDI）は、移動が活発になる年末年始に備え12月25日（木）・26日（金）の2日間で、東京・新宿の「サナギ新宿前イベントスペース」にて、旅への防災意識チェック体験場『旅先防災案内所』を期間限定で開催しています。

2024年1月に発生した令和6年能登半島地震から来月で2年。地震、台風、集中豪雨など自然災害に私たちはいつどこで被災するかわかりません。日常生活における防災意識は高まりを見せているものの、旅行や帰省などにおける旅先での防災意識は十分ではないことが、約3万人を対象とした独自調査で明らかになりました。また、旅行中に災害の影響を受けた経験者に、被災時に困った経験について尋ねたところ、スマホに関連する困りごとが中上位にランクインしました。

このような結果を踏まえ、有識者の協力を得て、身近なスマホから手軽に備えることができる『旅へのチェック！旅先防災集』を作成。当イベントで体験できるとともに、特設サイトなどを通じて情報発信をまいります。

特設サイト『旅先防災』：<https://www.au.com/pr/tabisakibosai/>



■『旅先防災案内所』 展示コンテンツ

旅への防災意識チェック

年末年始の旅行・帰省どこいく？

会場の入り口には、年末年始の旅行・帰省で行く予定の“旅先”をシールで貼って投票する巨大な日本地図のパネルが設置されています。来場した方々は、北は北海道、南は沖縄、山や海、離島など、全国各地のあらゆる“旅先”を思い浮かべ、ワクワクしながらシールを貼ることで、“旅先防災”の心の準備をしてもらいます。



旅先防災できてる？チェックパネル

さらに、「災害への備えを意識していますか？」と問いかね、シールを貼って回答するパネルでは、ご自身の普段と旅先での防災対策を振り返り、意識を高めるきっかけを提供しています。



旅先の災害リスクは見過ごされがち

続いて、「旅先での防災意識」に関するアンケート調査の結果が掲示されています。「旅行や帰省の際、災害への備えを意識していますか？」という問いに対して、「意識している」回答した人は約3割（32.6%）に留まり、旅先での防災意識がいかに低いかが読み取れます。来場した方々も、自身が旅先での防災を意識できていないことに気づき、ハッとすることも見られました。



準備編

荷造りでできる旅先防災

- ◇災害・緊急時に役立つサービスを確認しておこう
- ◇「持病の情報」は、スマホに入れておこう
- ◇旅のメンバー、電話番号も知ってる？

旅行・帰省の前の準備として、荷造り時の旅先防災TIPSを紹介しています。意外な使われ方をする身近な防災グッズを実際に展示し、ゲーム形式で、防災を意識した荷造りや、災害・緊急時に役立つサービスを学ぶことができます。



到着編

宿到着時にできる旅先防災

- ◇着いたらバシャ。思い出にも、目印にも。
- ◇到着したら、「非常口」をチェック！

旅先ではいざという場面でどちらの方向に行くべきか迷ってしまい、避難が遅れることがあります。到着したら、まず非常口と避難経路を確認することが、安全に繋がる備えになります。非常口のマークは2種類あり、その違いは非常口までの距離。クイズを通して非常口マークに関する豆知識を身に着けることができます。



旅先篇

初日の出スポットでできる旅先防災

- ◇水+スマホ=意外なアレ！？
- ◇山道は、マップを味方に

初日の出の鑑賞は、安全確保が重要です。山道では常に居場所を確認しておくことが安全につながります。Googleマップなら、山道でも地図と位置を共有でき、au Starlink Direct対応なので圏外でも使えて安心です。

ここでは、スマホとペットボトルでできる簡単ライトの作り方を学ぶことができます。



温泉でできる旅先防災

- ◇翻訳機能で、人助け！？
- ◇温泉グッズも、防災グッズ！？

旅先で温泉に入浴中、急な地震が発生してもまずは焦らず周囲を見渡ししましょう。そこには知っているだけで防災グッズに活用できるものが必ず何かあるはずです。

温泉グッズを使った旅先防災として、温泉タオルと歯ブラシでできる応急処置の方法を学ぶことができます。



アウトドアでできる旅先防災

- ◇アウトドア前は、通信環境をチェック！
- ◇登山アプリは入っている？
- ◇山には、高カロリーな行動食を持っていこう

登山やキャンプ中の遭難に備えて、必ず非常食を常備しておきましょう。少量で多くのエネルギーを摂取できるよう、カロリーが高いものを選ぶのがポイントです。また、通信環境の確認、ルートや天気の確認、緊急SOSの受信ができるアプリを入れておくと、より安心です。

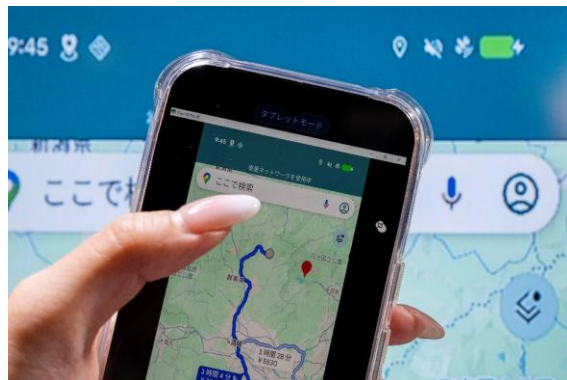


スマホでの旅先防災体験コーナー

圏外でもつながる安心！もしもの備えに

◇圏外でも使えるau Starlink Direct対応アプリ

「au Starlink Direct」は、スマホと衛星を直接つなぎ、空が見えれば圏外エリアでも通信できるサービスです※1。災害・緊急時に「au Starlink Direct」であれば、メッセージサービスの利用※2、自分の位置を共有できるほか、緊急速報メール※3を受信できます。圏外でも利用できる「au Starlink Direct」対応アプリも拡大中※4です。「au Starlink Direct」対応のアプリをデモ機を使って実際に体験いただくことができます。



いざという時のスマホの活用術！

◇Google Map、緊急SOS、リアルタイム翻訳

Googleマップで未知の場所でも迷わない。緊急SOSでスムーズな救助要請を。リアルタイム翻訳機能で言葉の壁も越えていく。Google Pixelとau Starlink Directで圏外でも『つながる安心』を。いざという時のスマホの活用術を実際にこの場で体験できます。



※1： サービスエリア：日本国内(領海を含む)のau 5G/4G LTEのエリア外。

※2： Androidでは「Googleメッセージ」アプリ、iPhoneでは「メッセージ」アプリが対象

※3： 緊急速報メールは緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の一部（国民保護情報）に対応しています。一部の機種で緊急速報メールの災害・避難情報が受信できない場合があります。

※4： 対象機種にて、一部アプリのデータ通信が可能。音声通話は未対応（2025年12月時点）

いつものスマホで、もしものに備える『旅先防災』監修

イベントおよび特設サイトで紹介する「旅へのチェック！旅先防災集」は、東北大学災害科学国際研究所 佐藤翔輔准教授のご協力を得て作成しました。

いつもの備えに“+α” 旅行・帰省時に求められる防災のポイント

旅先では“+αの備え”が欠かせません。まず、地震・津波・豪雨などの災害リスクを「重ねるハザードマップ」で確認し、避難場所も確認しておきましょう。自治体の公式SNSを登録し、誤情報に惑わされないよう複数の情報源を確保しておくことも重要です。また、「津波警報が出たら即避難」「豪雨警戒レベルが上がったら移動」など、災害ごとの判断基準を決めておくことで安心です。水・常備薬・現金などをまとめた“非常ポーチ”を持っておくことでよいでしょう。最も大切なのは「無理に帰ろうとしない」こと。現地で数日過ごす前提の備えが合理的です。



佐藤翔輔先生 （東北大学災害科学国際研究所准教授）

1982年新潟県生まれ。京都大学博士（情報学）。東北大学災害科学国際研究所助教などを経て2017年から現職。専門は災害情報、災害伝承、災害復興。災害・防災に関するコミュニケーションの領域について、実務現場と連携して取り組む。令和3年度科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞、地域安全学会年間優秀論文賞（2019年、2013年）ほか多数受賞。

年末年始の旅行・帰省に向けて防災対策を体験！『旅先防災案内所』を期間限定開設

帰省や旅行などが増える年末年始を前に、12月25日（木）・26日（金）の2日間、サナギ新宿前イベントスペースにて、旅へのチェック体験場『旅先防災案内所』を期間限定開設いたします。

同イベントでは、**有識者の協力を得て作成した「旅へのチェック！旅先防災集」**をご紹介するほか、**来場者が年末年始に予定している旅先を巨大日本地図に投票する「旅先投票MAP」**や、**Googleの最新機種「Google Pixel™ 10」を用いて圏外でも衛星通信でつながる「au Starlink Direct」のデモ体験**ができるなど、『旅先防災』をさまざまなかたちで学ぶことができます。

開催期間	2025年12月25日（木）・26日（金） / 各日11:00～20:00にて開催 ※荒天時は中止となる場合があります。当日の開催状況は、au公式X（@au_official）をご確認ください。 ※イベント内容は予告なく変更になる場合があります。
会場	サナギ新宿前イベントスペース（東京都新宿区新宿三丁目35番6号） アクセス：JR新宿駅東南口改札より徒歩1分
入場料	無料
ノベルティ	来場者には、旅先でも温まるカイロを全員にプレゼント！ 体験参加で回せるガチャで、旅行ポーチなど防災に役立つグッズが当たる！

身近なスマホでできる「旅へのチェック！旅先防災集」を一部紹介



旅先によっては、圏外の場所もある。慣れない土地で電波が途切れても慌てないよう、備えておこう。
au Starlink Directなら、圏外でも現在地や情報を確認できる。



到着したらまず、みんなで写真を撮ろう。撮影場所は、いざというときの集合場所に。



仲が良くても、意外と知らない電話番号。圏外ではメッセージアプリで連絡が取れないことも。au Starlink Directなら、圏外でも電話番号を利用してGoogleメッセージ（RCS）、iPhoneメッセージが利用できる。



練習してみよう！緊急SOS。一度試しておく、もしものときに迷わず使える。

なぜ Google Pixel 10 シリーズ | au Starlink Direct が『旅先防災』に強いのか？

Google Pixel 10 30時間以上持続※1、最大100時間※1,2の長時間駆動バッテリーで旅先のもしものに備える



※1：バッテリー駆動時間はさまざまな要因によって変動し、特定の機能を使用すると短くなります。実際のバッテリー駆動時間はこれより短くなる可能性があります。※2：スーパーバッテリーセーバーを使用時のバッテリー駆動時間

au | STARLINK 空が見えればどこでもつながるから※3
au Starlink Direct 旅先での災害・緊急時 圏外でもつながる

サービスエリア：日本国内(領海を含む)のau 5G/4G LTEのエリア外。
※3衛星捕捉時には留守電機能と着信転送機能とナンバーシェア（スマートウォッチ）での着信機能をご利用いただけません。
衛星捕捉まで時間を要する場合や、一時的に停波する場合があります。
遮蔽物がある場合には接続が制限されます。また、一部地域においては接続されない場合があります。詳しくは当社ホームページをご確認ください。

特設サイト『旅先防災』

Google Pixelとau Starlink Directでできる、旅先でいざという時に便利な機能などを紹介します。

URL: <https://www.au.com/pr/tabisakibosai/>



Google Pixel | au

低下しがちな旅先での防災意識、旅先災害経験者の困りごと中上位に「スマホ関連」ランクイン

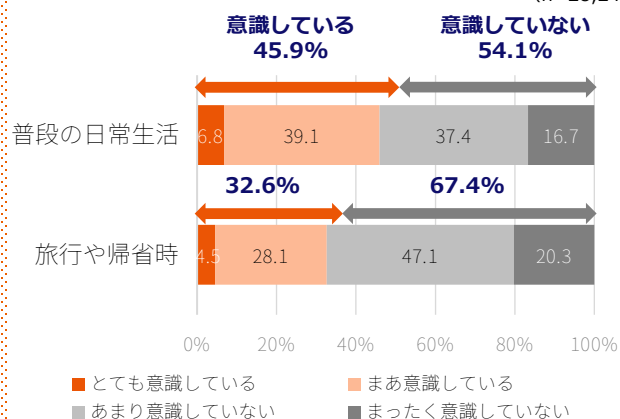
全国の20代～60代の男女約3万人を対象に行った調査から、**旅行や帰省などにおける旅先での防災意識は、普段の日常生活よりも低下しがちなことが明らかになりました。**

回答者に、災害への備えを意識しているかを尋ねたところ、普段の日常生活で「意識している（とても意識している+どちらかといえば意識している計）」と回答した人は、約半数（45.9%）であったのに対し、**旅行や帰省の際の意識は、3割台（32.6%）に留まり、約7割（67.4%）の人が「意識していない（あまり意識していない+まったく意識していない計）」と回答しました。**

また、回答者の中で旅行中や帰省中に災害の影響を受けたことがある被災経験者1,000人に、被災時に困ったことを尋ねたところ、「交通機関が長時間停止し、滞在せざるを得なかった」（29.0%）、「災害情報がすぐに入手できなかった」（25.3%）に続き、「スマホの充電が切れた・残量が不安だった」（23.6%）、「スマホが圏外だった・電波が不安定だった」（22.3%）が上がり、**スマホに関連する困りごとが中上位にランクイン**しました。

災害への備えを意識している？

(n=28,245)



旅先・帰省先で被災した際、困ったことは？

(n=1,000)

1	交通機関が長時間停止し、滞在せざるを得なかった	29.0%
2	災害情報がすぐに入手できなかった	25.3%
3	スマホの充電が切れた・残量が不安だった	23.6%
4	スマホが圏外だった・電波が不安定だった	22.3%
5	避難場所・避難経路が分からなかった	21.0%
6	現地の土地勘がなく動けなかった	16.6%
7	家族・同行者と連絡が取れなかった	13.2%

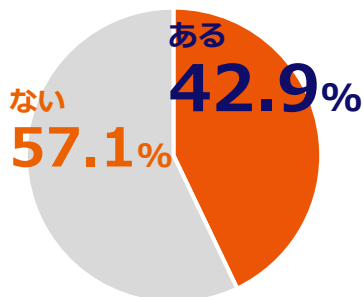
4割以上が旅先での被災時にスマホが使えない事態に、理由TOP2は「充電切れ」「Wi-Fi環境」

さらに、**旅行・帰省中の被災経験者の4割以上（42.9%）が被災時にスマホが使用できなくなった**と回答しました。

スマホが使えなくなった経験者にその理由について尋ねてみると、**約半数の人が「充電切れ（バッテリー切れ）」（47.3%）と回答、「Wi-Fiが使えなかった」と回答した人も4割以上（44.8%）と、他の回答項目を大きく上回る結果となりました。**

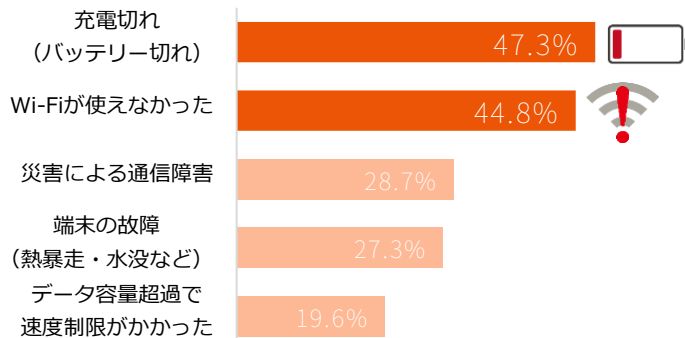
旅行・帰省中の被災時に、スマホが使えなくなった経験はある？

(n=1,000)



スマホが使えなくなった原因は？

(n=429)



調査概要 ■実施時期：2025年12月8日（月）～12月9日（火） ■調査手法：インターネット調査

■調査対象：全国の20代～60代男女28,245人／左記スクリーニング調査を踏まえ、旅行や帰省先での被災経験者1,000サンプルを抽出（各性年代100人）

★構成比（%）は小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

「空が見えれば、どこでもつながる。※1」日本初※2の衛星とスマホの直接通信サービス 「au Starlink Direct」で、災害・緊急時にもっと安心を。

KDDI、沖縄セルラーは、2025年4月10日より、日本初※2の衛星とスマホの直接通信サービス「au Starlink Direct」の提供を開始しました。

「au Starlink Direct」は、既存のau周波数を活用して、スマホが直接通信対応のStarlink衛星とつながり、空が見える状況であれば圏外エリアでも通信できるサービスです。**災害・緊急時に、普段利用している通信事業者が繋がらない場合でも「au Starlink Direct」であれば、メッセージサービスの利用※3、自分の位置を家族や友達に共有できるほか、緊急速報メール※4を受信できます。さらに圏外エリアでも利用できる「au Starlink Direct」の対応アプリも拡大中※5です。**

auの人口カバー率は99.9%を超えていますが、日本特有の地形により、面積カバー率は約60%です※6。日本全土をカバーする「au Starlink Direct」によって、残りの約40%でも通信の提供が可能となり、通信環境の整備が困難な山間部や島しょ部、キャンプ場や海上などにおいても、家族や友人との連絡手段、緊急時などに活用いただけます。

緊急時に役立つ「au Starlink Direct」対応アプリの例

								
ウェザー ニュース	Google マップ	X	YAMAP スマートフォンの GPSで現在地と ルートがわかる、 登山を楽しく安全 にするアプリ。	ヤマレコ 登山の計画、地図、 記録がスマホ1台 で完結！圏外でも 現在地を確認でき る登山アプリ	タイドグラフ BI 4,000ヶ所の釣り場 に対応した潮見表	特務機関 NERV防災 防災気象情報の 最適化配信 サービス	ココダヨ 家族の安心安全を 支える防災・ 防犯・位置情報 共有アプリ	緊急情報 サービス 必要とする支援や 情報とあなたを素 早くつなげること で、緊急事態への 備えと対応に役立 つアプリ

30時間以上※7の長時間駆動バッテリーを搭載した「Google Pixel 10」 スーパーバッテリーセーバーを使えば最長100時間まで延長可能※8

「au Starlink Direct」は、災害・緊急時でも「空が見えれば、どこでもつながる※2」安心を提供していますが、**スマホのバッテリーが切れてしまえば通信手段が途絶えてしまうことから、災害・緊急時にはバッテリーの持続性が求められます。**

Googleの最新機種「Google Pixel 10 シリーズ」は、同社が独自開発した最新プロセッサ「Google Tensor™ G5」の搭載により電力効率が大幅に向上、30時間以上※7バッテリーが持続する長時間駆動を可能にしました。さらに、電池を長持ちさせる「スーパーバッテリーセーバー」機能を使用すれば最長100時間※8まで使用することができます。

「au Starlink Direct」は、バッテリーもIP68の防塵防水性能※9と、長時間駆動のバッテリーを備えた本体も強靱な「Google Pixel 10 シリーズ」に発売当初から対応、災害・緊急時のつながる安心をより高めています。



※1： サービスエリア：日本国内(領海を含む)のau 5G/4G LTEのエリア外。

※2： 国内通信キャリアによる提供サービスとしては、auが初となります。（2025年3月時点、KDDI調べ）

*衛星捕捉時には留守電機能と着信転送機能とナンバーシェア（スマートフォン）での着信機能をご利用いただけません。

*衛星捕捉まで時間を要する場合や、一時的に停波する場合があります。

*遮蔽物がある場合には接続が制限されます。また、一部地域においては接続されない場合があります。詳しくは当社ホームページをご確認ください。

※3： Androidでは「Googleメッセージ」アプリ、iPhoneでは「メッセージ」アプリが対象

※4： 緊急速報メールは緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の一部（国民保護情報）に対応しています。一部の機種で緊急速報メールの災害・避難情報が受信できない場合があります。「au5G/4G LTE」利用中よりも広い範囲に配信されることがあります。

※5： 対象機種にて、一部アプリのデータ通信が可能。音声通話は未対応（2025年12月時点）

※6： 総務省「令和6年度 携帯電話及び全国BWAに係る電波の利用状況調査の調査結果について」

※7： バッテリー駆動時間はさまざまな要因によって変動し、特定の機能を使用すると短くなります。実際のバッテリー駆動時間はこれより短くなる可能性があります。

※8： スーパーバッテリーセーバーを使用時のバッテリー駆動時間

※9： デバイスは工場出荷時点で IEC 規格 60529 の IP68 の防水および防塵性能に準拠するよう設計されていますが、完全な防水または防塵ではありません。アクセサリは防水、防塵ではありません。防水および防塵性能は永久的には持続せず、時間の経過に伴い、通常の使用による摩耗、デバイスの修理、分解、損傷によって徐々に低下または消失します。

※Google Pixel と Google Tensor は、Google LLC の登録商標または商標です。